

平成 24 年度 公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター）

（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

I 情報収集・提供事業

■ 1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- ①利用時間 午前 10 時～午後 8 時（開館日）
- ②利用対象 小学校高学年以上
- ③複写 1 枚 10 円（資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。）
- ④閲覧等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- ⑤利用者数 12,929 人
- ⑥閲覧件数 図書等（2,197 件）ビデオ（273 件）CD（40 件）DVD（20 件）
- ⑦閲覧図書上位 1. 辞書・辞典・事典 2. 日本関連図書 3. 語学学習図書
4. 児童向け図書 5. 世界関連図書
- ⑧蔵書数

書 籍	14,583 冊 和図書 12,100 冊 外国語図書 2,483 冊
新 聞 （日刊・週刊など）	18 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 3 紙 日本語 11 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙
情 報 誌	34 誌 和雑誌 23 誌 外国語雑誌 11 誌 在日外国人向け生活情報誌 7 誌
ビデオテープ	474 巻
新聞スクラップ	98 タイトル 390 ファイル

（平成 25 年 3 月末現在）

- ⑨情報検索 利用者の情報検索の利便性向上のためパソコンを 2 台設置した。

(2) ロビー、ギャラリー等の運営

- ①国際交流関係機関や民間交流団体などの活動を紹介するとともに、国際交流・国際理解推進のための展示や場所の提供を行った。

- ②関係機関・団体等の絵画や作文等の展示、各種パンフレットやチラシ等の収集・配架により、文化に触れる機会を提供するとともに国際交流等に関わる多様な情報を市民に提供した。
(ジュニア文化賞等)
- ③外国人に向け、多言語による情報を収集・配布した。
- ④掲示パネルにより、ポスター等の各種国際交流事業を紹介した。
- ⑤メッセージボードを設置し、市民や外国人との情報交換を図った。
- ⑥市民が無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。
(利用時間) 午前9時30分～午後8時00分(休館日を除く)
(利用内容) インターネットの閲覧のみ
(利用料) 無料 1回あたり30分まで
(利用件数) 1,668件
- ⑦ギャラリーへ特別展示コーナーを設置し、海外情報の発信等を進めた。
- ⑧談話ロビーへ映像機器を設置し、国際理解映像などの情報を提供した。
- ※情報ロビーでの催事・展示

	展 示 内 容	主 催 団 体 等	展 示 期 間
1	東日本大震災3県被災地支援パネル 展示	(公財)川崎市国際交流協会	4/1～5/8
2	陸前高田に寄せて・・・ 絵本「松の木のうた」読み語り	NPO 法人 Aid TAKADA 日本大震災復興支援絵本読み 聞かせ会	4/21・5/20 6/17・7/29 8/25・9/30 10/21・11/18 12/23・1/26 3/10
3	友好都市提携20周年記念 ザルツブルグ市・リュューベック市写真展	(公財)川崎市国際交流協会	7/1～7/21
4	友好都市 ザルツブルグ市とリュューベック市における生徒間の交流作品展	川崎市立塚越中学校 美術部	7/22～8/19
5	川崎・富川—日韓美術交流会	国際友好こども絵画展	8/10～8/16
6	わたしの国はモンゴルです ～モンゴルの紹介写真展～	ソラプロジェクト	9/4～9/17
7	かわさき国際交流民間団体協議会 ミニ交流会・団体活動紹介・茶道体験	かわさき国際交流民間団体 協議会	10/6
8	日本語講座受講生による書道作品展	(公財)川崎市国際交流協会	11/6～11/25
9	Korea と Japan 友好のオブジェ	特定非営利法人コス援護会	11/27～12/1

10	ジュニア文化賞作品展示 (絵画 13、作文 13、計 26 作品)	川崎信用金庫	12/1~12/16
11	多摩・三浦丘陵広域連携・シンポジウム～広域連携参加 13 自治体の緑政策の紹介・活動団体紹介	川崎市建設局緑政課	2/8~2/9
12	キルギス共和国大統領令夫人 センター来館ご訪問記念写真展	(公財)川崎市国際交流協会	3/15~3/31

II 広報出版事業

■ 2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行

① 「国際交流センターだより」の発行

- (目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニュースレター形式で発信した。
- (発行) 年間 10 回 (月刊、7・8月号、2・3月号は合併号)
- (部数) 4, 500 部/回
- (内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターちょこっとだより、施設点検日・休館日のお知らせ、その他
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

② かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

- (目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。
- (発行) 年 4 回 (季刊)
- (発行部数) 6, 000 部/回
- (編集等) 協会所属のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

(2) センターホームページの運営

国際交流協会のホームページにより、市民及び外国人に国際交流に関する多様な情報を提供した。

(ホームページ) URL <http://www.kian.or.jp/>

(提供内容)

○川崎市国際交流協会について

- ・国際交流協会案内 ・協会のイベント及び講座 ・協会が後援するイベント
- ・ニューズレター ・図書・資料室 ・国際交流事業への助成制度

○外国人への情報提供について

- ・日本語講座 ・外国人市民相談コーナー
- ・生活情報 ・外国人留学生への助成制度 ・7言語での川崎市内のお知らせ

○小学生への情報提供について

- ・川崎市の外国人に関するデータ ・姉妹友好都市について

○その他

- ・ボランティア活動 ・国際交流民間団体協議会 ・身近な国際協力
(アクセス件数) 64, 532件 (176アクセス/日)
(更新数) 598回

Ⅲ 講座・研修事業

■ 3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(講座)

○午前コース (9:50~11:50) 年間3期、週2回 (火、金)、保育を実施

1学期: 4/24~7/10 (22回)、2学期: 9/25~12/7 (22回)、3学期: 1/11~3/8 (17回)

○夜間コース (18:30~20:30) 年間3期、週1回 (水)

1学期: 4/25~7/11 (12回)、2学期: 9/5~12/12 (15回)、3学期: 1/16~3/13 (9回)

(講師) 協会登録の日本語講座ボランティア

(場所) 川崎市国際交流センター 会議室

(受講者) 延べ 279名 (36の国・地域)

(2) 特別講座

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

①市内見学 5月22日 (火)

受講生 23名、子ども 9名、日本語講座ボランティア 7名、保育ボランティア 2名、
職員 2名 合計 43名

②七夕祭り 6月27日 (水)、6月29日 (金) 受講生のべ 86名 (午前コース、夜間コース)

③梨もぎ体験 9月8日 (土)

受講生と家族 24名、日本語ボランティア 3名、職員 1名 合計 28名

④書道体験 11月2日 (金) 受講生 49名

⑤防災訓練 3月1日 (金)

受講生 38名、子ども 6名、日本語ボランティア 10名、保育ボランティア 3名 合計 57名

⑥日本の遊び体験 3月13日 (水) 受講生 16名、日本語ボランティア 10名 合計 26名

(3) 研修会

①日本語講座ボランティア登録事前研修

日本語講座ボランティアへの登録を目的として事前研修を開催した。

(期 間) 平成 24 年 11 月 10 日～平成 25 年 3 月 9 日

(回 数) 12 回

(講 師) 東京学芸大学非常勤講師

(場 所) 川崎市国際交流センター

(参加者) 12 名

②日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

(日 時) 平成 24 年 11 月 10 日 (土) 13:30～15:30

(講 師) 中級テキストの著者

(場 所) 川崎市国際交流センター

(内 容) 著書である中級のテキストを使っての学習の仕方について

(参加者) 協会登録日本語講座ボランティア 34 名

■ 4 国際理解講座事業

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語(英語、中国語)のほか文化を通じての国際理解講座を開催した。

(1) 日本語による国際理解講座

2012 年は、日インド国交樹立 60 周年、日中国交正常化 40 周年の年であったため、アジアの大国である中国とインドにスポットをあて、その国出身者が講師となり、文化や社会について写真や映像を交えながら、国際理解を深めた。

(期間) 平成 24 年 10 月 6 日 (土)、10 月 20 日 (土)

(時間) 14:00～15:30

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10/6(土)	「インドの多様な結婚式」 この講座では、地方によって異なる、多様なインドの結婚式を写真や映像を交えて紹介。サリーの着方についても伝授。 インドのスナックと紅茶も提供。	外国語指導助手	17
2	10/20(土)	「中国琵琶と私」 中国琵琶についての詳細な説明と講師の体験を紹介。途中で琵琶の演奏もあり。 中国茶も提供。	協会登録ボランティア	15

(2) 外国語による国際理解講座

①英語による国際理解講座（前期）

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

（期間） 平成 24 年 6 月 9 日（土）、6 月 16 日（土）、6 月 23 日（土）

（時間） 14:00～16:00

（会場） 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	6/9(土)	“Comparison of Australia and Japan’s Refugee Policies” 「オーストラリアと日本の難民政策の比較」	川崎市 国際交流員	39
2	6/16(土)	“Mangoes, Beaches and English in the Philippines” 「フィリピンのマンゴ、ビーチ、そして英語」	外国語指導助手	39
3	6/23(土)	“New Mexico, Land of Enchantment” 「魅惑の地 ニューメキシコ」	NHK ワールド レポーター	39

②英語による国際理解講座（後期）

（期間） 平成 24 年 10 月 27 日（土）、11 月 17 日（土）、12 月 1 日（土）

（時間） 14:00～16:00

（会場） 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10/27(土)	“Janusz Korczak-Polish-Jewish children’s writer and educator” 「ポーランドの作家 ヤヌシュ・コンチャック について」	川崎市国際交流協会 語学講座講師	26
2	11/17(土)	“Societal Status of Women: A Comparison of Australia and Japan” 「女性の社会的地位：オーストラリアと日本の比較」	川崎市 国際交流員	26
3	12/1(土)	“Various wedding ceremonies in India” 「インドの多様な結婚式」	外国語指導助手	26

③中国語による国際理解講座

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について講義と中国文化の体験、交流を行った。

（期間） 平成 24 年 9 月 8 日（土）、9 月 15 日（土）、9 月 29 日（土）

（時間） 14:00～16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム AB 他会議室

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	9/8 (土)	「心身統合練功法」体験	京劇俳優、演出家	23
2	9/15 (土)	「日常の業務からみた日本と中国」 - 信用にまつわる話	当協会ボランティア、 日本企業勤務	25
3	9/29 (土)	「中国結び」体験	料理教室主宰他	25

■ 5 国際文化理解講座事業

(1) 国際文化理解講座

オーストリア・ザルツブルク市およびドイツ・リュューベック市との友好都市提携 20 周年を記念して、ドイツとオーストリアを紹介する講座を行い、市民レベルでの友好親善と相互理解を深めた。

(期 間) 平成 24 年 12 月 15 日 (土)、平成 25 年 1 月 19 日、1 月 26 日

(会 場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム AB、会議室、調理室

(時 間) 14:00~16:00 (3 回目のみ、13:00~16:00)

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	12/15 (土)	「ドイツのクリスマスについて」 第一部 ドイツ家庭のクリスマスの準備 ドイツ家庭のクリスマスの準備や過ごし 方の紹介。 第二部 ドイツで製パンマイスター(親方) の資格を取得した講師による話。	第一部 協会日本語講 座受講生 第二部 ドイツ製パン マイスター	39
2	1/19 (土)	「ドイツのカーニバル」 カーニバルの歴史や変遷、楽しみ方な どをドイツ各地の映像を交えて案内し た。	東京大学博士研究員	38
3	1/26 (土)	「オーストリアの家庭料理」 料理と一緒に作って味わい、オースト リアについて理解を深めた。	ドイツ語講師、 ウィーン菓子研究家	28

IV 国際交流促進事業

■ 6 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチコンテスト

川崎市内の大学や専門学校の留学生及び日本語講座の受講生等を対象に、日本語スピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と聴衆、関係者との交流を深めた。

- (期 日) 平成 25 年 2 月 16 日 (土) 13:00~17:00
(会 場) 川崎市国際交流センター ホール他
(内 容) スピーチコンテスト、交流会
(主催等) 主催：公益財団法人 川崎市国際交流協会
協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご
協力：国際ソロプチミスト川崎、東京衣裳きもの学院
後援：川崎市、川崎市教育委員会、川崎商工会議所、
「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(対 象) 日本語を母語としない来日 5 年以内の外国人で、市内の大学、専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の受講生等

(出場団体等) 7 団体 13 名

中国	川崎市国際交流協会日本語講座	「日本語と恋をしましょう！」
インド	日本語クラブ (土曜の会)	「日本とインドの季節」
中国	ロゴス国際学院	「人生は登山だ」
イラン	川崎市国際交流協会日本語講座	「わたしの国イラン」
中国	米山ファッションビジネス専門学校	「私の平凡な友達」
ミャンマー	ロゴス国際学院	「ミャンマーの元引きこもりですが」
タイ	外語ビジネス専門学校	「友達とのダイエット作戦」
中国	中原市民館日本語教室「はらっぱ」	「夢」
モンゴル	川崎市国際交流協会日本語講座	「迷惑について」
韓国	興和日本語学院	「人生は日本のドラマがいい」
中国	米山ファッションビジネス専門学校	「私の勉強生活」
タンザニア	外語ビジネス専門学校	「チップとサービス」
ベトナム	興和日本語学院	「冬が寒くなくなる」

(聴衆 参加者) 200 名

(交流会参加者) 107 名

(ミニコンサート) 「タイの民族楽器ピンとラナード」演奏

■ 7 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) クロコディロスコンサート

第 18 回目のアメリカ・ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。また、コンサート後、学生との交流会を実施した。

- (期 日) 平成 24 年 6 月 16 日 (土) コンサート : 14:00~
交 流 会 : 15:30~
- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール他
- (後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
- (内 容) 男声アカペラコンサート
- (参加者) コンサート : 110 名
交 流 会 : 54 名

(2) 世界の音楽会 (魅惑の音楽紀行)

ときめき・世界の音楽シリーズ「魅惑の音楽紀行～アルペンを訪ねて～」

川崎市とドイツ・リュベック市、オーストリア・ザルツブルク市の友好都市提携 20 周年を記念して、代表的な音楽を生演奏で紹介し、国際理解促進を図れるようコンサートを開催した。

- 第 1 回 (期 日) 平成 24 年 10 月 13 日 (土) 14:00~15:30
- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール
- (後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
- (内 容) チター演奏とドイツ、オーストリア、スイスの話
- (出演者) 内藤 敏子
- (参加者) 93 名
- 第 2 回 (期 日) 平成 24 年 11 月 17 日 (土) 14:00~15:30
- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール
- (後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
- (内 容) 南ドイツとオーストリア音楽のタベ
- (出演者) エーデルワイスカペレ
- (参加者) 154 名

V 外国人相談事業

■ 8 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等への紹介を行った。川崎市国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを毎月 1 回、川崎市国際交流センターで行った。

また、外国人への情報提供のためにセンターにタブレット型パソコンを2台を設置しているが、区役所相談のためにパソコンを1台ずつ合計2台を設置した。

(1) センター相談事業

川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日)

英語	月・火・水・木・金・土	10:00~12:00、13:00~16:00
中国語	火・水・金	10:00~12:00、13:00~16:00
韓国・朝鮮語	火・木	10:00~12:00、13:00~16:00
ポルトガル語	火・金	10:00~12:00、13:00~16:00
スペイン語	火・水	10:00~12:00、13:00~16:00
タガログ語	火・水	10:00~12:00、13:00~16:00

(2) 区役所相談事業

川崎区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	14:00~16:30
タガログ語	第1・3火	9:30~12:00
英語	第1・3木	14:00~16:30

麻生区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	9:30~12:00
タガログ語	第1・3水	14:00~16:30
英語	第1・3木	9:30~12:00

<相談員>

川崎市国際交流協会相談員(6名)

ボランティア相談員(区役所派遣6名)

<相談件数>

年間相談数	1,701件
川崎市国際交流センター	1,665件
川崎区役所	25件
麻生区役所	11件

(3) 相談支援

① 専門相談会

(センター内)

○行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部)

○かながわ外国人居住支援ネットワーク運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、川崎市

住宅基本計画改定委員会

○川崎市外国人代表者会議選考委員会

○かながわユニセフ連絡協議会

○川崎市 DV 被害者相談連絡会・川崎市女性相談員連絡会

○中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会

○9 都県市相談担当者連絡会議

②相談員研修

国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングや研修を毎月第4火曜日に、川崎市国際交流センターで行った。

さらに、川崎市国際交流センターにおいて研修を実施したり外部機関での研修に相談員を派遣したりする中で、新しい情報収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

<研修会の開催>

○ 外国人相談に関わる課題

講師：臨床心理士・鍼灸師

○ 外国人に関わる結婚・離婚・それに伴う問題について

講師：横浜みなみ法律事務所 弁護士

○ 外国人相談に関わる課題 パート2

講師：臨床心理士・鍼灸師

<研修会等への派遣>

○ 関弁連シンポジウム「外国人の人権～外国人の直面する困難の解決をめざして」

○ 神奈川県外国人相談スタッフ研修会～難しいタイプの相談者への対応について～

○ 外国籍県民相談員研修会「入管法改正について」

○ 震災時における外国人住民支援に関する意見交換会

○ 在日日系人のための生活相談員セミナー 「就労研修・新入管法」

○ フォーラム「いざそのとき！外国人を災害弱者としないために」

○ 外国籍県民相談員研修会「外国人支援現場におけるソーシャルワークについて」

○ 麻生市民館 識字ボランティア研修会

○ 幸市民館 識字ボランティア研修会

○ 多文化フェスタさいわい 外国人出前相談

○ 外国につながる住民たちを取り巻く現状と課題

かながわ外国人すまいサポートセンター

○ これからの広報に役立つ『やさしいにほんご』講座

■ ※施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営（JV）

① 統括業務

施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

② 施設利用受付及び案内業務

ア 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実にを行った。

イ 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

③ 施設利用促進業務

ア ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。

イ 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

ウ 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

エ 川崎市国際交流センター活用推進委員会の開催

（期日） 平成 24 年 11 月 7 日（水）14:00～

（内容） 報告事項

昨年度検討委員会指摘事項に対する取り組み
議事

稼働率の向上策について

広報・インターネットホームページの拡充について

（期日） 平成 25 年 3 月 27 日（水）15:00～

報告事項

- ・ 川崎市国際交流センターの利用状況について
- ・ 実施事業について ウィンターギャザリング
- ・ 施設活用について 情報ロビーの利用状況
- ・ 施設改善について
- ・ 防災関連
- ・ 広報関係

今後の取組計画の報告

④ 図書・資料室管理業務

ア 一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。

イ 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

ウ 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を毎月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数 200 部で近隣の公共機関及び小学校などに配布

し、施設の周知に努めた。

エ 隔月毎にテーマを設けて図書の展示を行い、多くの入館者へ様々なジャンルの本の紹介を行った。

⑤施設・設備の維持管理及び補修業務

ア 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

イ 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

ウ 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

エ 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

⑥舞台及びA V機器等維持管理業務

市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理を行った。

⑦施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

⑧駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

⑨設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

⑩施設環境衛生管理業務

ア 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

イ 空気環境測定業務 年6回（奇数月）

ウ 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

エ 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）

オ 害虫防除 年12回

カ レジオネラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）
（冷却水水質検査 年2回 6月・8月）

⑪施設清掃業務

ア 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

イ 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

ウ フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

⑫植栽維持管理業務

- ア 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。
- イ イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。
- ウ 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

①施設の改修

- ・茶室パッケージエアコン更新工事
- ・エントランス外壁タイル補修工事
- ・地下駐車場 バリアフリー対策工事（2台分）
- ・駐車場ライン補修工事
- ・多目的広場陥没箇所復旧工事
- ・ホール仮設電源盤設置工事

②施設的环境整備等

- ・トイレ整備（洗浄暖房便座設置）
- ・談話ロビー床整備
- ・図書資料室来館者用インターネット検索用パソコンの導入

(3) 市民共同おひさま発電所の見学会

①経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。これは、地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及びa p b a n kからの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものある。

今後は、川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人をはじめ多くの皆さまに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していく。

②設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6.25kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4.32kW
プロムナード上部設置部分	1.93kW
事業費	約850万円
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

(4) 利用実績

①平成24年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	14,904人
5月	25,801人
6月	16,343人
7月	30,830人
8月	12,867人
9月	15,879人
10月	17,380人
11月	18,868人
12月	15,911人
1月	14,427人
2月	16,393人
3月	18,005人
合計	217,608人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

②川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：344日）

施設名	利用コマ数	稼働率%	施設名	利用コマ数	稼働率%
ホール(264)	736	71.3	特別会議室(28)	82	7.9
レセプションルーム	669	64.5	特別応接室(8)	127	12.3
会議室(第1)(36)	564	54.5	料理室(24)	245	23.7
会議室(第2)(24)	779	75.3	交流サロン(30)	868	84.2
会議室(第3)(24)	654	63.2	茶室	281	27.2
会議室(第4)(30)	633	61.3	レクリエーションルーム	944	91.5
会議室(第5)(30)	606	58.7			
会議室(第6)(18)	821	79.6			
会議室(第7和室)(10)	627	60.8			

(注) 1. ()は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 稼働率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。

但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。